

第33回

うつのみやこども賞だより

平成28年度 7回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『夜露姫』

みなと董／著（講談社）

～読んだ本の感想より～



- 晶子の勇気や根性、行動力が、わたしはすごいと思いました。
- 狭霧丸と夜露の計画に心がおどった。
- 最後まで、どうなるかわからなくておもしろかった。その時その時のこうけいが、すぐに目にうかんできた。
- 読んでいて、きんちょうしたりして、続きが気になりました。
- 夜盗修行の様子や仕事（検非違使）等、狭霧丸と夜露姫のクスリと笑えるやりとりがたくさんあっておもしろかった。
- 夜露姫がとつぜん出会った佐と一緒に、今までやったことのないことにチャレンジして、いろいろなことを知り、強くなっていくすがたがよかった。
- 少将にむかって硯をなげるとは、すごいと思った。
- 夜露の思いっきりの良さが、読んでいてとてもおもしろかった。
- 姫だったのに男のとうそくになっておもしろかったです。

『いい人ランキング』 吉野万理子／著（あすなろ書房）

- 「みんな、素敵な部分、必ず持ってる」この言葉が印象に残りました。
- なんか、すごく現実味があって、おもしろかった。
- 日常にありそうな話だったので、勉強になった。僕もこんなことがあったら、自分の身を圭機のように守れる人になりたい。
- いい人になるとこんなことのあるんだなと思いながら読んでいました。
- 「いい人ランキング」の本当の理由が分かった時はしょうげきだった。
- 「イジメ」について、もう1度よく考えるといいと思う作品。

『五七五の夏』 万乃華れん／著（文研出版）

- 順平の気持ちがセリフ以外の所でもよくあらわされていて、おもしろかった。クラスの人がしてた、川柳の会話がおもしろかった。
- 野菜の大切さが分かりました。
- 「手」を題に野菜の大切さや、農家の人達への感謝を感じた。
- 鈴木のかっちゃんの手は、きっと、野菜への想いでいっぱいなんだなと思った。
- せんりゅうで言葉のやりとりをしているのが、おもしろかった。
- この本をよんで、せんりゅうについていろんなことが分かった。
- 「宿題を、ひらいたしゅんかん、かぜひいた」というのがおもしろかった。

『バンドガール』 濱野京子／著（偕成社）

- 「忘れられた歌」は、本当に「忘れられない歌」なんだと思った。
- ドラムをはじめた沙良がバンドガールをはじめたのが楽しそうでした。私もやってみたいです。
- 沙良が忘れられた歌をみんなで演奏しようとしたことは、かたんに納得させられるのかなと不思議に思いました。
- 北海道が首都という所におどろきました。『忘れられた歌』というのが、とってもよかったです。
- チームで協力して、いい演奏ができた事に感動しました。
- 最後の発表会の後の池上さんが何ていうかなと、やるときめたところから思っていました。

平成28年12月4日